

寺報 善 巧

ぜん ぎょう

発 行

〒 938-0862 富 山 県
黒部市宇奈月町浦山497
白雪山 善 巧 寺
TEL (0765) 65-0055
FAX (0765) 65-0975
メール info@zengyou.net
URL http://www.zengyou.net

十月十九日午後一時半
親鸞聖人七五〇回大遠忌
黒西組お持ち受け法要
〔雅楽や合唱団と共に音楽法要〕

寺
ごよみ

十 月

一 日	二 日	三 日	四 日	五 日	六 日	七 日	八 日	九 日	一〇 日	一一 日	一二 日	一三 日	一四 日	一五 日	一六 日	一七 日	一八 日	一九 日	二〇 日	二一 日	二二 日	二三 日	二四 日	二五 日	二六 日	二七 日	二八 日	二九 日	三〇 日
板屋お講 お寺座ライブ	栗虫報恩講	魚津報恩講	経田窪野田家 報恩講	清掃奉仕	東狐報恩講	富山報恩講	東狐報恩講	上野報恩講	三日市お講	午後映画上映 七五〇回大遠忌 黒西組お持ち受 け法要	報恩講	上野報恩講	門徒親睦パーク ゴルフ大会	板屋報恩講	飯野・芦崎 報恩講														



「年寄りを いたわる
ばかりが 政治じゃない
よ 生かして使えよ 老
いの智慧」
今年米寿を迎えた漫才
師内海桂子さんの都々逸
です。

ここ二十年ほどの間に
目に見えていろんなこと
が変化しました。中でも
こどもやご年配者への接
し方も変わってきた
ような気がします。

家族に財布がひと
つだった時代は、一
家の主はおじいちゃ
ん。何かひとつ欲し
いものがあれば、家
族会議をして、おじいちゃ
んの了解が必要だったと
言います。そのおじいちゃ
んの決め台詞は「仏さん
に聞かっしゃい」。そん
なお宅は、今では日本の
どこを探してもないでし
ょう。

いつからか、核家族が
当たり前になり、年配者
は若い人に気を使い、若
夫婦はこどもに振り回さ

仰ぐ対象

れているという、ほんの
数十年で、価値観が全く
逆さまになりました。こ
れは、改めて考えると凄
いことだとしみじみ思
います。

昔が良かったというの
ではなく、何を失ったか
という話です。ズバリ
「仰ぐ対象」ではないで
しょうか。「仏さんに聞か
っしゃい」とスパッと
言える人には敬いの
対象があります。自
分の物差しはじつに
頼りなく、時代と共
に変化していきます。

変化は若い人のほう
が柔軟に対応出来るでし
ょう。でも、そこには智慧
がない。仏さまの物差し
を改めて考える必要があ
るのではないのでしょうか。
ご多分に漏れず、うち
も子育て期間真っ最中。
こどもを中心に家庭がま
わり始めていることを実
感しながら、そんなこと
をふと思いました。

善巧寺住職 雪山俊隆

ほんごさまのお荘厳

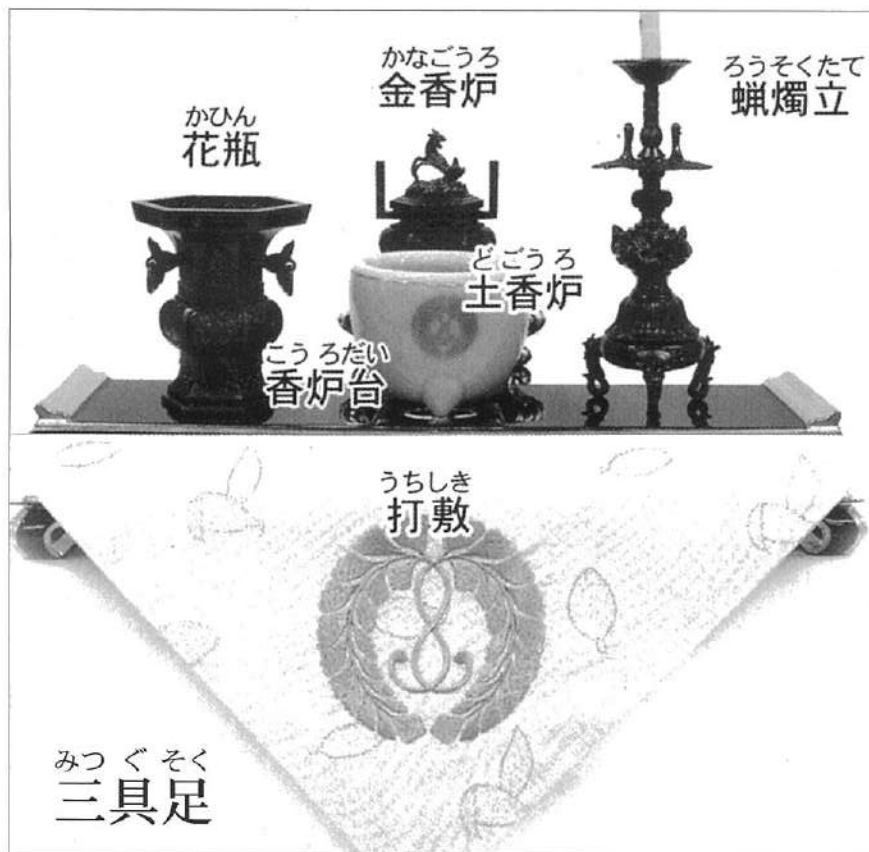
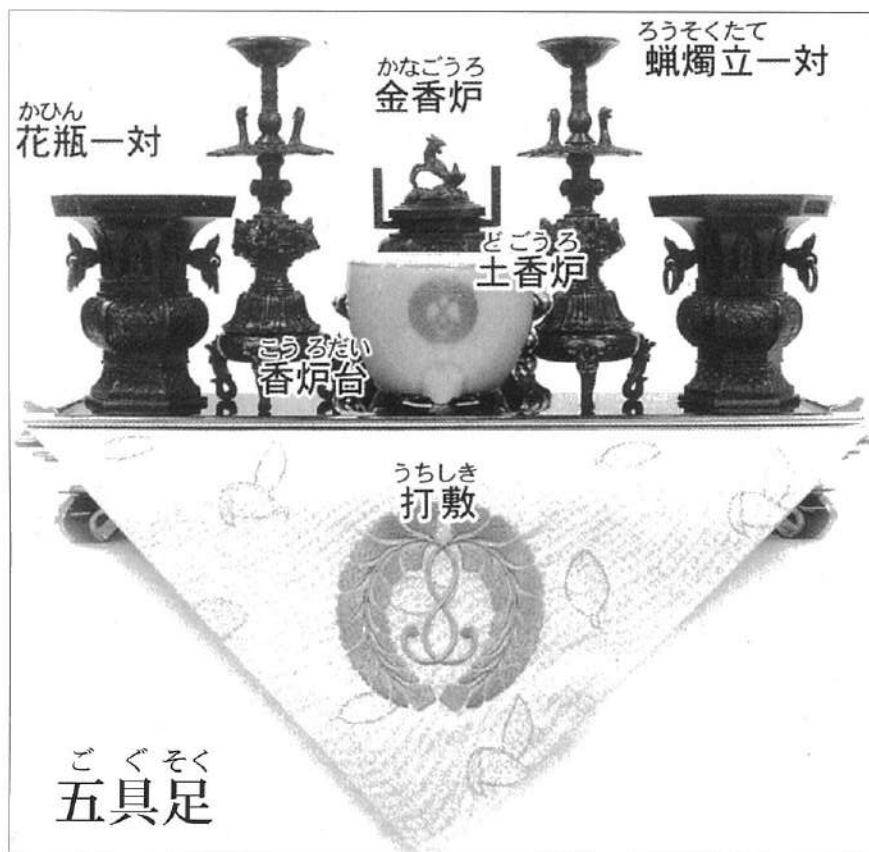
お仏壇はご本尊（阿彌陀様）をご安置するためのものです。お仏壇はお浄土の世界を表現したお寺の本堂を基本にしたものであり、金色に輝くお

浄土の世界をあらわしています。

今を生きる私が、朝夕のお勤めやお給仕を通じて故人を偲びつつ、生かされている日々感謝し

で、手を合わせお念仏を称えさせていただく場所です。

この頁では、五具足と三具足をご紹介します。三具足を三具足でもかまいません。

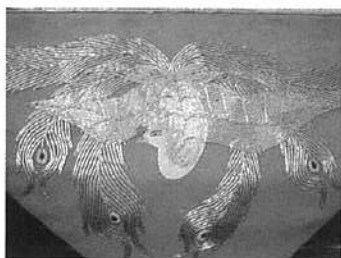


ほんこさま

正式には「報恩講（ほんこんこう）」と言い、親鸞聖人のご法事をご縁にしたお参りです。善巧寺では、九月から翌年の三月にかけて、全門徒さんのお宅へお勤めを勧め

る年に一度の大切な仏壇参り

ております。まだお参りをされていないご家庭や、近年連絡が滞っていたご家庭の方も、ぜひこの折にお勤めくださるようお願い致します。地区の参拝期間に都合の合わない方、平日のお昼間に都合がつけられない方はお寺へご相談ください。



年会費

お寺の維持運営費への

ご協力願います

通称「かかり銭」「板返し」とも言い、一軒九千円を一律でお願いしております。善巧寺の維持運営費として活用させていただきます、内訳は寺報四月号に掲載しております。

年に一度のほんこさま参りの折にお渡しいただく場合が多いですが、ご都合によりほんこさまを勤められない方には、振り込みやお寺へお持ちいただくようお願いしております。お寺の運営を賄っている大切なご懇志ですので、何卒、ご協力のほどよろしくお願い致します。

振込先は左記の通りです。

黒部農業協同組合 東部支店
〇〇〇二五七〇〇二二
ゼンギョウジダイヒョウユキヤマトシダカ

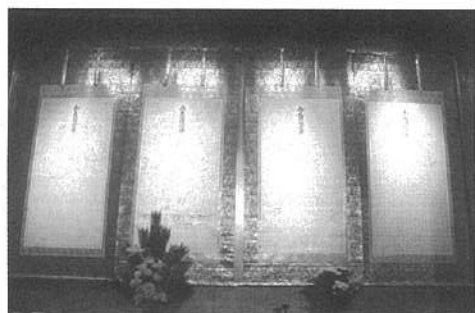
引き続き、記念事業募財のご協力をお願い致します。

内陣法名

故人の法名を善巧寺の

本堂内陣へ

本堂の仏さまに向かつて左側に法名軸がご安置されています。一口十万円が故人のお名前を記入致します。平成二十五年までは、記念事業の懇志（二口九万円）へ十五万円以上お納めの方にも一枠お取り致します。おあずかりしたご懇志は本堂内の仏具等に活用させていただきます。



給水配管改修工事

本堂東のトイレだけでなく庫裡のトイレも水の出が悪いというご助言があり、営繕部で調べた結果、本管から引いてある水道管が細くそのまま三つのトイレ、洗面、台所で使っていました。それでは行事のある時の数十人の対処は当然無理であることがわかりました。急遽でてきた事態ではあります。報恩講までには改善しようということになり、八月三十日から工事が始まり九月十五日完成。ご不便をおかけすることはなくなりました。



永代経祠堂会

七月十六・十九日

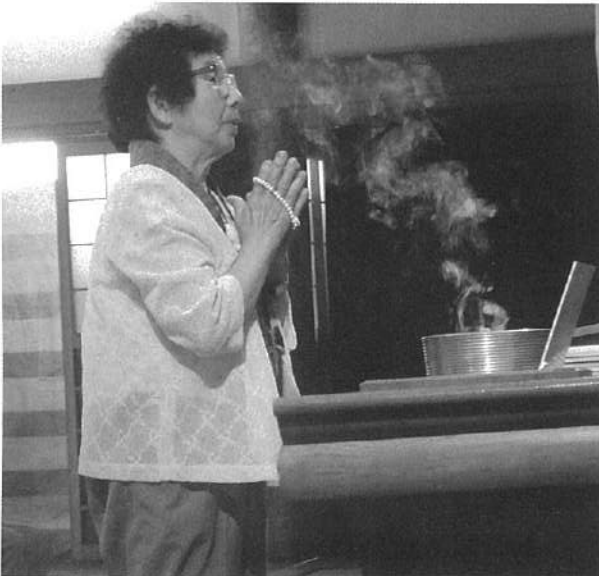
門徒の皆さまのご法事、祠堂会（しどうえ）が例年通り四日間営まれました。前半は住職副住職の法話。後半二日間は「みどうさん」の編集などを通しておられる大阪の末本弘然先生にお越しいただきました。

総代、仏婦の方々の献灯献花や内陣法名のお焼

香などがありました。仏婦では恒例のバザーを四日間行い、東狐上野の役員さん達が忙し。沢山お買い上げいただきました。

役員さんたちはご満座の日のお寺クイズにも出演して大活躍でした。

尚、昨年から運行している法要バスは、祠堂会と報恩講の年に二回常時運行することになりました。どうぞ、お気軽ねなくお乗りください。



照行寺住職 満中陰法要

八月七日

早いもので照行寺住職
神子勉さんが還往されて
四十九日が過ぎました。
ご寺内の皆さまはどんな
にか大変な思いをしてお
られることでしょう。当
日は親戚の方々がお集ま
りになって善巧寺本堂で
満中陰が勤められました。
それぞれに懐かしく故人
を偲ばせてもらいました。

いこも盆おどり

八月十五日

こども盆おどりは、三
十年ほど前に夢を語る会
のメンバーが、昔の話を
聞きそれを復活させ、ま
た、自分たちのこどもを
楽しませようという想い
も持ってスタートしたお
寺の大切な行事です。い
つからか、劇団のOBが



お手伝いしてくるよう
になり、徐々にスタッフ
は若者主体に移行してい
きました。そのメンバー
も近年は、結婚や出産ラッ
シユで参加しにくくなり、
数年前からは中高生が中
心にサポートしてくれて
います。中高生は数年で
入れ替わっていくので、
当初の熱い志を持った固
定メンバーのようにはい
きませんが、これも三十
年で一回りの狭間なので
しょう。徐々に二世の参
加も出てきたので、数年
後には、次の復活がきっ
と実現出来るだろうと夢
見ています。

お盆参り

八月十六日

初盆を迎えられる方
ご家族がまだ悲しみも癒
えない中を礼服に身を包
んでご参拝、お焼香され
ました。懐かしい今は亡
き方々を偲びながら「一
切のものを分け隔てなく
必ず救う」と仰る阿弥陀
様のお心を改めて味わ
いました。

雪ん子劇団 野外公演

八月二十二日

六月末の赤穂北組のお
待ち受けを終えてから練
習に入ったので、非常に
短時間で仕上げざるをえ
ませんでした。猛暑と言
われる熱さの中、こども
達は特訓に耐えて良い舞
台を作り上げました。ア
ンケートにたくさん答え
ていただきました。

「胸がキュンとするよ
うなこども達の姿でした。
夜のイチヨウ、他の劇場
と比べようのない舞台で
した。」「一人一人のこ
どもが輝いている素晴らし
い舞台でした。『ほたる』
は心のこもった言葉が心
に響き涙がこぼれました。」「
外でのこどもたち素晴
らしかったです。伝統を
大切にしてほしいです。」「
『ほたる』は小学生と
しては完成度の高いもの
でした。配役のセッティ
ングから構成まで一人一
人の良いところを引き出
してあり、照明演出の素
晴らしさも加わって見応
えのある舞台でした。」



お寺座ライブはいかが？

雪山 俊隆

音楽ファンの間で話題の富
山県・白雪山善巧寺で毎年行

われる「お寺座ライブ」。ア
ーティストのライブ×一口説
法という異色のイベントに、
本年は向井秀徳、湯川潮音ら
が出演。仕掛け人の住職・雪
山俊隆さん(37)はこう語る。
「もともと僕は音楽がすごく
好きで、昔京都にいた頃クラ
イイベントによく関わってい
たんです。うちのお寺では先
代が永六輔さんの落語会を開
いたりしていて、自分の世代
感覚でも何かやれたらいいな
と。ライブの一環でお経や法
話をきくって、法事での印象
とは全く違うんですよ。仏縁
が希薄な若い人たちにも新鮮
に受け取ってもらっています」
その『ポッドキャスト説法』
は今や登録者数が十万人を超
え、ネットでも大人気。そん
な雪山さんはお寺を継いだ二
十代に、一度家出をしている。
「身近な友達に仏教の面白さ
をどう伝えていくか、思い描
いていた理想と現実が違っ
て行き詰まったんです。振り返
れば甘ちゃんです(笑)。一度失
敗したことで、帰ってきてか
ら地域の人とも自然体で対峙
できるようになった。親鸞聖
人の他力本願という思想を広
く捉えると、自ら努めて行い
ながら、それを支えてくれた
沢山の力に感謝して生きると
いうこと。お寺がそんな気づ
きの場になればいいですね」

『週刊文春九月三十日号(こ
の人のスケジュール表より)』

教区仏教婦人会連盟 基幹運動研修会

七月六日

平成二十二年度の富山教区仏婦連盟第一回基幹運動研修会が富山別院で開催されました。今年度のご講師は善巧寺ではおなじみの福井千福寺の高務哲量先生。『開かれたお寺をめざして』と題して問題提起をしていただき、話し合いのまとめと御法話をしていただきました。善巧寺からは八人が参加。一番前の席でお聴聞いたしました。

黒西組 仏教婦人会研修会

七月九日

今年度初めての企画で組の仏婦研修会が開催されました。普段はなかなか口に出さない『領解文』



や『浄土真宗の教章』をみんなで斉唱しました。『知っておきたい浄土真宗』をテキストに先ずクイズ形式でお念珠の持ち方、お焼香のお作法。お焼香の仕方は知っているようで自信を持ってできない事の一つです。全員が実際にやってみました。次にお仏壇の意味とお荘厳について。基本的なお飾りを学びました。皆さんからの質問コーナーでは、

「お念珠の決まりはありますか」
「仏様にお供えするお花で入れない方がいいものはありますか」
「お仏壇の扉はいつも開けたままでいいですか」
などなど多くの質問が寄せられました。多くの方が良い研修になったと喜んでくださったようです。研修を終えて親睦を兼ねた昼食会は麦酒館で。結構お酒も進み賑やかに交流できました。

氷見東組仏婦ご参拝

七月十一日



一度雪ん子劇団を見たいと六十名ばかりのご婦人がお越しになりました。二ヶ寺の坊守さんと仏婦の役員さんにご接待をしてもらいました。お参りの後、会館で雪ん子たちと基礎練習体験。『こども落語』『うちのとうちやんえらいんだ』をハンカチで目頭を拭きながらご覧いただいたことです。記念撮影をしてこども達の手を握り「よかったよ」「元気だね」とお名残惜しそうでした。

富山教区盆踊り

八月三日

今年から教区総連盟仏婦も『親鸞音頭』で参加することになり、坊守が参加。今年春から練習した成果を披露。八尾から招待しているおわら保存会の皆さんと一緒に踊りました。

富山教区 仏教婦人研修旅行

九月二十八〜二十九日

今年度の教区研修旅行に善巧寺から三名が参加しました。上越高田にある浄興寺、板倉米増の恵信尼様のご廟所、七百年の歴史を刻む本願寺第三代覚如上人より寺号を奉受された須坂の普願寺に参拝しました。須坂のブドウ狩りは季節もちょうど良く新鮮なブドウをお土産に帰りました。

～第2回 善巧寺門徒親睦パークゴルフ大会～ 参加者募集 初心者歓迎！

1. 期日：平成**22**年**10**月**25**日(月) 雨天中止

受付 8：30 開会式 8：50 開始 9：00

2. 場所：入善町青野自然公園パークゴルフ場

＊当日は現地集合現地解散です。

3. 競技方法：27ホールストロークプレーで行う。

4. 参加費：500円／ひとり（賞品・参加賞等）

5. 参加申込み：

参加希望者は**10月20日**までに、お寺もしくは地区の総代までご連絡ください。



白雪山善巧寺 65-0055

一八六四二一
〇日日月日日月

下村報恩講

愛本新報恩講

下立愛本お講

十二月

寺
ごよみ

三二二二二
〇八六五四

浦山新報恩講

中陣報恩講

出報恩講

析沢報恩講

午後映画上映

一六二一一
六日二日一日

浦山新お講

析沢報恩講

石田報恩講

境保健衛生大会

六六五
日日月

雪ん子富山県環

住職不在

四三二一
日日日日

石田報恩講

中新報恩講

愛本新お講

寺
ごよみ

十一月



黒部市の八号線沿いに
ひっそりと佇む親鸞聖人
像。どこにあるかわかり
ますか？

親鸞さま
みーつけた！

一一日 清掃奉仕
一三日 下立愛本報恩講
一四日 浦山お講
一六日 午後映画上映
一七日 下立愛本報恩講
二〇日 内山報恩講
二二日 音沢報恩講
二四日 米とぎ
二七日 米とぎ
二九日 米とぎ
三〇日 米とぎ

親鸞聖人七五〇回大遠忌 黒西組お待ち受け法要

十月十九日午後一時半

黒部市と魚津市の浄土真宗寺院の集まり黒西組（こくせいそ）で、合同の法要が善巧寺で行われることになりました。雅楽や合唱団が加わり荘厳な音楽法要が営まれますので、どうぞお誘い合わせの上、ご参拝ください。

講師 本願寺派勸学 霊山 勝海師

両日ともバスを運行します。

※時刻表は別紙をご覧ください。

報 恩 講

報恩講とは親鸞聖人のご法事です。浄土真宗門徒としては欠かせない行事とお受け取りください。

十月十九日 午後七時 お初夜

二十日 午前十時 お日中

午後一時半 ご満座

講題 信心をいただく
講師 本願寺派勸学

霊山 勝海師



報恩講法要準備

十月九日八時半

清掃奉仕

十六日八時半

おみがき

十七日八時半

米とぎ

十八日八時半

お華束・掃除等

パークゴルフ大会

十月二十五日

七頁をご覧ください。

空華忌準備

十一月十四日八時半

空 華 忌

十一月十五日 午後二時 お初夜

十六日 午前十時 お講

午後一時 ご満座

講師 弘誓寺住職

那須野 浄英師

※本年のみ日程が変更しておりますので、お間違いないようにお参りください。

越冬清掃奉仕

十二月十一日八時半

もちつき大会

十二月三十日十時

本山団体参拝旅行

平成二十三年

四月十三〜十四日

来年四月はいよいよ京都西本願寺で、親鸞聖人の七五〇回大遠忌法要がはじまります。黒西組で団体参拝をしますので、ぜひご参加ください。（詳細は別紙）

一次締切り

十二月二十日（月）

善巧寺十一代明教院僧銘法師のご法事です。

合 掌

黒西組の親鸞聖人七五〇お待ち受け法要が善巧寺で行われることになり、七月、九月と三回にわたってリハーサルが行われました。最終リハーサルには大きなエレクトーンが運び込まれ本願寺合唱団も参加されました。

当日は音楽法要が営まれ霊山勝海先生のご法話があります。送迎バスもありますので、是非是非お参りください。

* * *

九月初旬、若坊守が二才になった長女と三カ月になる長男を連れて帰ってきました。四カ月見ない間に長女華依はお喋りも上手になり一人前にお話ししています。長男隆汰はまるまると太ってよく笑います。まことに賑やかな家族になりました。今後のお講でお目にかかります。

